

9122

Reports to  
1st Cavalry Division  
HQ Independent Force  
from #44 Sept 1 to Sept 18  
from #44 June 21 - 25  
Secret

獨立混成第四旅團

RS 96614

Cincpac-Cincpoa

B- 27500

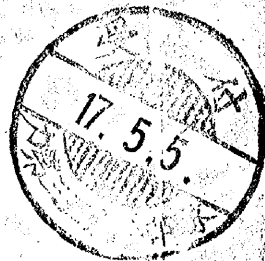
OKINAWA 25 July

# 第一期晋中作戰戰鬥詳報

23714

10543

戰詳第十二號  
自昭和十五年九月十一日  
至同 年九月十八日



返還史料



2900-4
1-1
WG 75.6 愛

1515

目次

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

二 戦闘ニ影響ヲ及シタル氣象地形及住民地ノ状態

三 彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ團隊號將師ノ氏名 編制

裝備 素質 戦法

四 各時期ニ於ケル戦闘經過 關係部隊ノ動作 及

連絡施設ノ状態

五 戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

六 將來ノ参考トナルヘキ事項

附表

附圖

第一 死傷表

第二 兵器彈藥損耗表

第三 函獲表

第一 第二期進攻作戰戰鬥經過要圖

第二 第二期復行作戰戰鬥經過要圖

第三 孟縣地方作戰戰鬥經過要圖

第一戰闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

(一) 八月下旬以來管内及同周邊ノ共產軍ハ穩密裡ニ逐次兵力ヲ石太線西側ニ集結シ八月二十日一齊日ニ石太線ヲ襲撃シ來レリ然レ共我迅速アルヲ攻作戰ニ依リ其ノ企圖ヲ挫折セラレニ九師ハ逐次南方ニ後退シ主力ヲ馬坊鎮及舊陽村附近ニ又平日察冀邊區ハ巨城鎮周邊ニ集結シアルカ如ク尙有カナル一部ヲ依然測石附近ニ駐止セシメ各地附近鐵道ノ徹底的破壊及執拗ナル游專戦ヲ企圖シアルモノ、如シ(別紙要圖参照)

(二) 旅團ハ軍作命甲第三五五號ニ據リ獨立混成第九旅團ト協力シ主力ヲ以テ概ネ陽泉和順遼縣榆社ノ線ヨリ松塔鎮、橫嶺村馬坊鎮ヲ含ム地區ニ向ヒ進攻シ敵ニ九師主力ヲ捕捉殲滅セントシ獨混四旅作命甲第六三六號ヲ下達シ又石太線沿線ニ殘存セル敵ヲ肅滅シ沿線ノ交通連絡ノ強化確保ヲ企圖シ獨混四旅作命甲第六三九號ヲ下達シ夫々討伐ヲ準備セシム

一軍作命甲第三五五號

第一軍 命令

八月二十六日二十時十分  
太原軍司令部

一、石太線南方地區ノ敵第三九師主力ハ全面的ニ退却シ兆アリ  
 二、軍ハ該敵ヲ捕捉專滅セントス

三、獨立混成第四旅團長ハ歩兵約二大隊基幹部隊ヲ以テ治西村(平定西南六料)ノ上龍泉(同上西南々十六料)ノ松塔鎮(同上西南々十六料)道及昔陽ノ尚鎮(同上西微北二十料)ノ宜銅鋪(同上西微北十料)ノ松塔鎮道ヲ歩兵約二大隊基幹部隊ヲ以テ和順ノ紫羅村(同上西グ十料)ノ西泉(同上西北十料)ノ安豐鎮(同上北十料)ノ横嶺村(同上西微北九料)道團壁(和順西方九料)ノ盛家庄(同上北十四料)ノ馬坊鎮道石匣村(遼縣西々北八料)ノ長城鎮(同上西北十二料)ノ油房溝(同上北々西二十料)ノ馬坊鎮道及榆社ノ孔家庄(同上北々東十八料)ノ溫泉村(同上北微東十二料)ノ油房溝(同上東北七料)ノ馬坊鎮道ニ沿フ地區ヲ々々松塔鎮横嶺村及馬坊鎮附近ニ向テ前進シ所在ノ敵ヲ索メテ撃滅スヘシ

四、二軍作命甲第三四五號並ニ二軍作命甲第二五三號ニ基キ沁縣ニ集結ス(キ迫敵第五大隊並ニ第三十六師團ノ歩兵二大隊基幹部隊ハ沁縣到着ト共ニ獨立混成第四旅團長ノ指揮下ニ入ルヘシ)

五 獨立混成第四旅團長ハ前頂部隊ヲ指揮スヘシ

六 獨立混成第九旅團長ハ歩兵約一大隊基幹部隊ヲ以テ揚邑鎮(太行東北九料)―双峰鎮(榆社北微西十七料)―儀城村(沁房溝西方三料)―外會溝(同上北十五料)道ヲ歩兵約半大隊基幹部隊ヲ以テ范村鎮(揚邑鎮東北十三料)―牛昌坪(同上東々南十料)―猫兒嶺(同上東北十二料)外會溝(同上東方十料)道ヲ又歩兵一大隊基幹部隊ヲ以テ長凝鎮(榆次東々南十三料)―石坑塔(同上東南七料)―潤郊鎮(同上東々南十二料)―馬坊鎮道ニ沿ヒ地區ヲ夫々馬坊鎮及外會溝附近ニ向ヒ前進シ所在ノ敵ヲ索メテ撃テ滅スヘシ

第三十六師團、歩兵二大隊半基幹部隊ハ榆次ニ於テ夫々其ノ指揮下ニ入ル

七 予ハ太原軍司令部ニ在リ

八 細部ニ關シテハ軍參謀長ヲシテ指示セシム

第一軍司令官 篠塚義男

下達法

要旨ヲ電報シタル後印刷送付(如シテ空中投下)但シ如ハ口達ス

一 軍作命甲第ニ五五號ニ基テ軍參謀長指示

一 各兵團作戰行動ノ開始ハ敵ノ退却動搖ノ機ニ乘ルル如ク神速ヲ第一トシ  
逐次ニ戰鬪ニ加入スルモノトス

二 作戰實施ニ方リテハ執拗ニ敵ヲ追專スルト共ニ迅速ニ其ノ退路ヲ遮断シテ敵  
ヲ隨所ニ捕捉專滅スルコトニ努メ日標線進出後反轉シテ行フ作戰ニ於テ  
ハ徹底的ニ敵根據地ヲ燼滅掃蕩シ敵ヲシテ將來生存スル能ハサルニ至ラシム  
又進路ノ兩側ニ退避セル敵ニ對シテハ徹底的ニ索出シテ之ヲ剿滅ス  
三 所要ニ應シ臨時駐兵ヲ為スコトアリ  
細部ニ關シテハ追テ示サルヲ旨

獨混四旅作命甲第六二六號

獨立混成第四旅團命令

陽 二十九日十時

一 敵ハ依然石太沿線ニ蠢動シアルモ全面的ニ退却ノ兆アリ

細部ノ狀況別紙要圖ノ如ク

二旅團ハ獨立混成第九旅團ト協同シ主力ヲ以テ概ネ陽泉和順遼縣榆社  
 線ヨリ松塔鎮橫嶺村馬坊鎮ヲ含ム地區ニ向ヒ進攻シ敵三九師主力ヲ捕  
 虜滅セントス

芝田飛行隊ハ旅團作戰ニ協力ス

新ニ井關部隊ノ鈴木部隊(歩兵五中隊基幹)及桑田部隊(追再第五大隊)  
 ヲ配屬セラル

獨混九旅ノ進路別紙要圖ノ如シ

三各討伐部隊ハ別紙行動基準要圖ニ依リ所在ノ敵ヲ專滅シツ九月三日  
 追撃目標ノ線ニ進出スヘシ

目標進出後ノ行動ハ別命ス

軍隊區分別紙ノ如シ

四旅團直轄部隊ハ先ツ陽泉ニ位置スヘシ

五各地區警備部隊ハ益々警備ヲ嚴ナラシムヘシ

特ニ德江原田地區警備部隊ハ石太線ノ連絡確保ニ又陽泉―遼縣道ニ



沿フ地區警備隊ハ敵ニ虚隙ヲ與ヘサル如ク努ルベシ

六、通信補給ニ關シテハ晋中作戦通信計畫後方計畫ニ依ルベシ

七、細部ニ關シテハ高級參謀ヲシテ指示ス

八、予ハ陽泉戰鬪司令所ニ在リ

作戦ノ進捗ニ伴ヒ逐次南方ニ移動ス

旅團長 片山少將

下達法

要旨ヲ電報後印刷交付

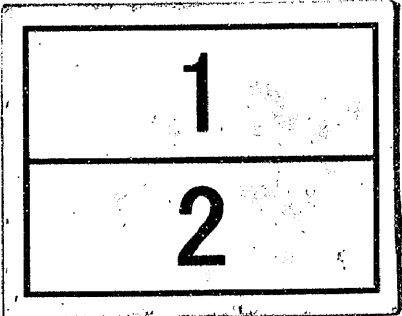
〔鈴木、池邊、鈴木采前隊ニハ飛行機ノ釣取ヲ併用ス〕

獨混四旅作命甲第ニ六號ニ基ク高級參謀指示

一、各計、伐部隊目標線進出地區進出後反轉シテ作戦ノ行方場合ニ依  
底的ニ敵根據地ヲ燼滅掃蕩シ敵ヲシテ將來生存スル能ハサルニ至ラシ  
ムルモノトス

- 又進路ノ兩側ニ退避セル敵ニ對シテハ徹底的ニ索出シテ之ヲ剿滅ス
- 二、各討伐隊日々進出地占ハ確實ニ報告スルト共ニ各部隊ニ常ニ發信位置ヲ明示スルモノトス
- 三、各討伐隊ハ命令ヲ受領セハ速ニ參電第 號受領スルト返電シ次テ命令ニ應スル部署(實行報告)ヲ報告スルモノトス

## 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3版以上のため
文書等名	管内石太線南北地区敵状要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

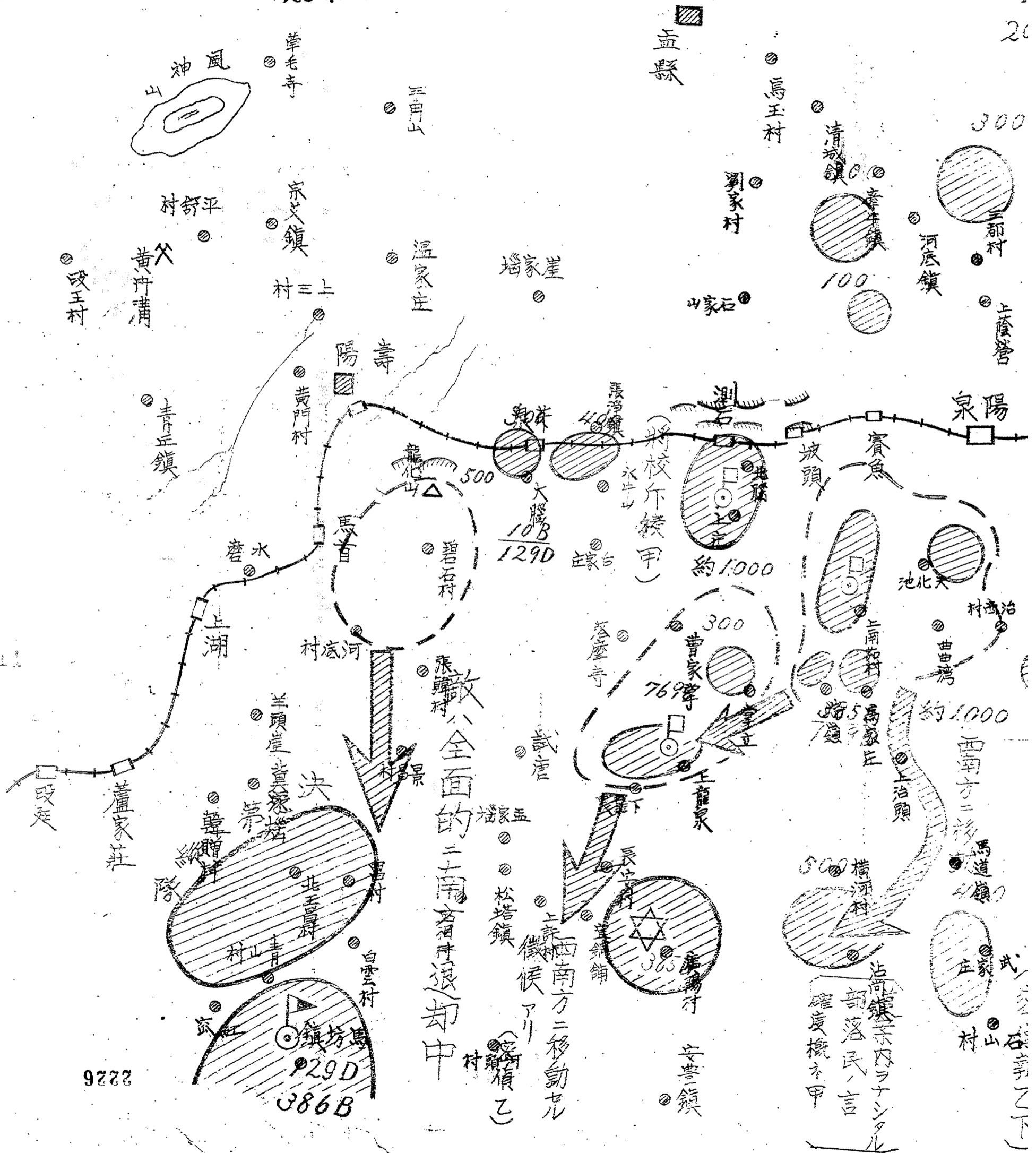


# 緜南地區敵要圖

八月二十九日十時

9222

250000



9222



## 討伐隊ニ與フル注意

一 今次作戦ハ既ニ示セル如ク敵根據地ニ對シ徹底的ニ殲滅掃蕩シ敵ヲシテ將來生存スルニ能ハサルニ至ラシムルコト緊要ナリ之カ為無辜ノ住民ヲ苦マシムルハ避クヘキモ敵性顯著ニシテ敵根據地タルコト明瞭ナル部落ハ要スレハ燒棄スルモ亦止ラ得サルヘシ

但シ此ノ場合ニアリテモ虐殺掠奪ニ類スル行為ハ嚴ニ戒ムルヲ要ス

二 同ニ討伐隊ハ勿論比隣討伐隊ト密ニ連絡シ相互協力敵ニ殲滅的打撃ヲ與フルヲ要ス

三 日々ノ戦果ハ必ス二時ノ交信時ニ報告スルモノトス

四 今次作戦ハ相當長期ニ日ルモノト豫期セラルヘク且殘暑ノ候氣温ノ変化甚大ナルヘキヲ以テ幹部以下志氣ヲ振起シ保健ニ留意シ作戰目的ノ貫徹ニ邁進シ此ノ絶好ノ機會ニ將來禍根ヲ一掃スル慨ヲ以テ作戰ニ從事センコトヲ望ム

昭和十五年八月二十九日

片山少將

獨混四旅作命甲第六三六號別紙

軍 隊 區 分

石山計伐隊

長 獨立混成第四旅團砲兵隊長 石山砲兵中佐

計伐隊本部(附丸山中尉 經理部下士官一ヲ屬ス)

獨立混成第十六旅團 横田中隊

獨立歩兵第三大隊 中村中隊

善方方集 成 中隊

獨立混成第四旅團山砲兵一小隊(二分隊欠)

第四十二師團大内山砲兵中隊

獨立混成第四旅團工兵一分隊

同 旅團無線二分隊(五号一、三号二)

行 本寺

鈴木計伐隊



長 獨立歩兵第十一大隊長 鈴木榮助 歩兵中佐

獨立歩兵第十一大隊本部及一中隊上小隊

獨立歩兵第十一大隊ノ一中隊

入江歩兵中隊

獨立歩兵第十一大隊大隊砲小隊

大坪山砲兵中隊(二分隊缺)

工兵一小隊

無線通信三分隊(三号ノ五号各二)

獨立輜重兵第一聯隊第三中隊ノ一小隊

池邊討伐隊

長 獨立歩兵第十三大隊長 池邊 歩兵中佐

獨立歩兵第十三大隊大隊本部及歩兵一中隊

第三十六師團進藤歩兵中隊

獨立歩兵第十三大隊大隊砲一小隊

獨立歩兵第十三大隊聯隊砲一小隊

山砲兵一小隊

工兵一分隊

桑田迫真大隊一中隊

無線通信二分隊 (三号、五号各二)

獨立輜重兵第一聯隊第三中隊一小隊

笠鈴討伐隊

長 第三十六師團 鈴木步兵少佐

第三十六師團大隊本部及歩兵四中隊

第三十六師團機關銃一中隊 (五銃編成)

第三十七師團大隊砲一分隊

第三十六師團山砲兵一中隊 (三門編成)

第三十七師團工兵ノ一部

桑田迫真大隊 (一中隊)

大隊長ニシテ鈴木少佐ヨリ先任ナル時ハ  
迫真大隊ハ協力部隊トス

第三十六師團無線通信一分隊(三ノ)

直轄部隊

長峯歩兵中隊

勝川歩兵小隊

旅團工兵隊(三小隊缺)

旅團通信隊(無線五分隊缺)

獨立輜重兵第一聯隊第三中隊(三小隊缺)

兵站自動車第四十六中隊(三十一輛)

獨混四旅作命甲第六六號別冊

晉中作戰後方計畫

第一 補給

一 裝備

ノ携帶彈藥ハ携帶定數(小銃ニハ輕機ハ七リ重擲一六)ヲ携行シ  
各部隊ノ携行基準左ノ如ク

歩兵中隊

小銃 輕機 彈藥 一〇箱

重機 関銃 彈藥 二四箱

手榴 彈 一〇箱 (四〇發)

重擲 彈藥 四箱 (三〇發)

歩兵大隊

重擲 彈藥 一六箱 (三〇發入)

大隊砲 彈藥 二〇箱 (八發入)

聯隊砲彈藥 四口箱(三發入)

野山砲彈藥(二門ニキ) 一ロロ發

迫真砲彈藥( ) 一ロロ發(内半數ハ赤)

其他特殊彈藥( ) 各部隊適宜携行

2 糧 秣

各人名馬携帶糧秣 四日分(彈詰込)

行李糧秣 三日分(馬量半定量)

各計代隊ノ行李糧秣ハ主食ヲ主トシ若干ノ副食物調味品ヲ携行スルモノトス

副食物ハ努メテ現地物資ヲ利用スルモノトス

3 地方ノ馬ノ飼養ハ穀類ノ携行若シハ現地調辨シ之ヲ給スルモノトス

4 前項彈藥糧秣ハ鈴木計代隊ハ沁縣田中計代隊ハ陽泉其ノ他

各地區警備隊ニ於テ整備携行セシムルモノトス

二 補給實施

ノ彈藥兵器材料ノ補給ハ携行彈藥ニ依ルヲ本則トス

但シ狀況ニ依リ和順東村ニ彈藥集積所ヲ設置シ和順集積所ハ陽泉

ヨリ東村集積所ハ坂井池區警備隊ヨリ集積ス

ノ糧秣ノ補給ハ左ノ如ク實施スルモノトス

各討伐隊ハ進出自標ニ進出後反轉シテ作戰スル場合ハ左記ノ通糧秣

ヲ集積ス

其ノ補給ハ其ノ都度示ス

榆 社 一大隊ノ一日分(主食ハ全量副食物ハ三分ノ二)

石匣村 二大隊ノ七日分(右) 同)

和 順 二大隊ノ七日分(右) 同)

東 村 二大隊ノ三日分(右) 同)

三輜重ノ運用

ノ和順集積ノ彈藥糧秣ノ集積ハ兵站自動車中隊ニ於テ實施スルモノトス

ノ石匣村榆社ノ集積ハ池邊地區警備隊ノ現集積糧秣ヲ充當スルモノトス

3. 東村集積所ハ坂井旭區警備隊ノ驢車一小隊ヲ以テ集積スルモノトス  
其ノ實施ノ細部ハ其ノ都度示ス

第二 衛生

一 各討伐隊ハ衛生隊若クハ救護班ヲ以テ救護ニ任セシムルモノトス  
鈴木討伐隊ハ沁縣ニ其ノ他ハ和順赤松縣ニ患者收容所ヲ設置シテ  
收容スルモノトス

馬匹ノ救護ハ昔陽ニ病馬收容所ヲ設置シテ收容セラルム  
其ノ他ハ其ノ都度示ス

獨混四旅作命甲第六三六號別冊

晋中作戰通信計畫

晋中作戰連絡規定

一 無線通信ハ別紙通信計畫ニ依ルモノトス

二 有線通信ハ各地區警備隊ニ於テ速ニ補修ヲ連絡スルモノトス

三 鳩通信ハ固定鳩ヲ全部使用スルモノトス

四 信號及記號

攻再前進 白一星

追 再 赤二星

第一線歩兵線標示 標示幕布(白布、天幕)

敵アリ百名以下 白 懷中電燈 左右

白 旗 左右

敵アリ百名以上 白 懷中電燈 上下

白 旗 上下

敵ナシ

白 懷中電燈 圓ク

白 旗 圓ク



回光機及短旗通信ハ字號通信ヲ實施スルモノトス

友軍標示 〇 左右ニ回 圓クニ回

合言葉 大ニ勇 武ニ勇

五空地連絡

1. 飛行隊ト旅團司令部間ノ連絡ハ無線及直接連絡ニ依ルモノトス

2. 第一線部隊ハ布板信號ヲ確實ニシテ又煙ヲ併用スルモノトス

離隔スル小部隊程煙ノ使用必要ナリ

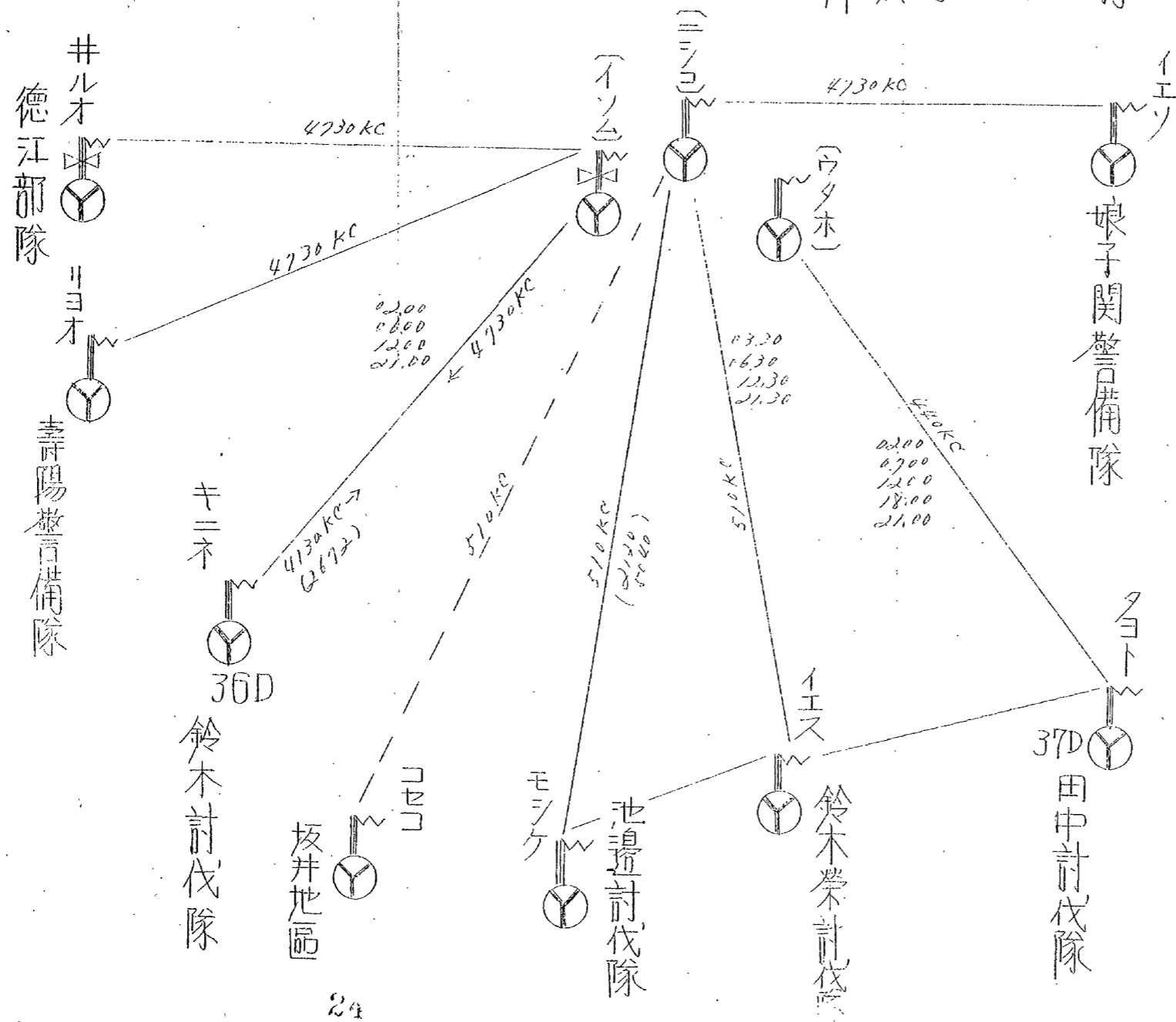
3. 毎日翌日ニ於ケル企圖 第一線部隊ノ進出地点進路ヲ明確ニ速ニ

報告シテ飛行隊ヲシテ有効ナル戦闘ヲナサシムルモノトス

6822

# 通 信 計 畫 要 圖

八月二十八日 降



別紙  
備考

- 一 旅團通信隊長ハ左記ノ如ク通信系ヲ変更シ旅團司令部田中討伐隊、鈴木榮討伐隊、池邊討伐隊、鈴木討伐隊間ノ連絡ニ任スルモノトス
- 二 暗號書ハ地協乱トス
- 三 0230ハ定時連絡時刻ヲ不ス
- 四 其ノ他ハ旅團通信隊長規定スルモノトス

1539

獨立混成旅作命甲第六九號

獨立混成第四旅團命令

八月十五日 泉

一 石太線ノ敵情大ナル變化ナリ

鐵道復旧工事ハ逐次進捗ラツツアリ

ニ 旅團ハ石太沿線ニ殘存セル敵ヲ撃滅シ沿線ノ交通連絡ヲ更ニ強化

確保セントス

三 徳江原田兩地區警備隊ハ別冊討伐計畫ニ基キ石田沿線ノ討

伐ニ任スヘシ

四 予ハ陽泉戰鬥司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

印刷交付

但シ徳江部隊長ニハ口達後交付